

No.	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	H29決算
1	防災危機管理室	防災講演会	共催	社会福祉法人長崎市社会福祉協議会	防災週間の一環として、市民に対して防災意識の高揚及び防災知識の普及啓発を図るために、防災講演会を実施する。	広く開催の周知を行うことができたとともに、運営に関する人的な協力を得られたことから市職員の負担軽減につながった。	108
2	人権男女共同参画室	啓発広報費(うちながさき女性・団体ネットワークにかかる部分)	共催	ながさき女性・団体ネットワーク	長崎市内の女性団体等で組織する「ながさき女性・団体ネットワーク」の会員及び市民に対して、男女共同参画に関する意識啓発のための講演会を実施。	平成29年度は共催という形では講演会は開催しなかったが、ネットワークの会議等に市も参加し、市内の女性団体等との男女共同参画推進に向けた情報の共有が図られた。	0
3	スポーツ振興課	市民体育・レクリエーション祭開催	共催	公益財団法人長崎市スポーツ協会 長崎市レクリエーション協議会	市民総参加のスポーツの祭典として、競技スポーツ(陸上競技ほか38種目)やレクリエーション種目を実施。	円滑な運営による行事の成功に加え、参加者からの意見を採り入れることで様々な分野における改善にも成功している。	4,468
4	スポーツ振興課	長崎新春駅伝開催	共催	公益財団法人長崎市スポーツ協会	市民の健康づくりを目的とし、市体育協会と共催により、長崎新春駅伝大会(一般、高校、中学、小学生の部)を実施。	本市や各加盟団体との連絡・協力体制が確立されており、実施予定の競技における準備から運営までを適切に実施することができた。	162
5	消費者センター	長崎暮らしの講座 夏休み子ども消費者教室『エコ・クッキング』	共催	西部ガスショールームヒナタ長崎	子どもたちに体験実習を通して賢い消費者としての第一歩を踏み出してもらうことを目的とし、専門の資格を持つ講師による『エコ・クッキング』を協働で開催。	必要な設備がそろった会場の提供や、専門の講師による対応など、この事業については市単独での実施は大変困難。協働することで実施が可能となり、結果参加者にも大変ご好評をいただいた。	0
6	被爆継承課	原爆資料館運営費	共催	公益財団法人長崎平和推進協会写真資料調査部会	被爆写真に関連した企画展に際し、被爆写真の専門家の団体と協力して展示準備や展示期間中の普及活動を行う。	団体の持つ写真検証のノウハウを活かし、展示資料の説明文を充実させることができた。また、会場で団体が展示解説を行ったことで展示資料に対する来場者の理解が深まった。	838
7	地域保健課	自死遺族分かち合いの会	共催	特定非営利活動法人自死遺族支援ネットワーク	大切な方を自死(自殺)で亡くされた方を支援するために分かち合いの会を開催。	遺族同士の出会いの場を提供し、互いに語り合うことを通して、悲嘆や苦しみを分かち合い、精神的安定を図ることで、遺族の自殺を防止することにつながった。	0
8	健康づくり課	歯科口腔保健計画推進事業「歯っぴいスマイルフェスティバル」	共催	一般社団法人長崎市歯科医師会	全国的に展開される「歯と口の健康週間」(6月4日～10日)に一般社団法人長崎市歯科医師会が中心となって実施しているイベントに対し、共催団体として負担金を支出する。これは、市民への口腔衛生思想を普及・啓発するとともに、歯科関係者と市民との交流の場を設けることにより、市民の健康の保持増進を図っている。	歯科に関連する団体が協力し、参加者が楽しく学べるように工夫したイベントを開催したことで、市民に対し口腔衛生思想を普及・啓発することができた。 【H28年度参加者】2,300人 【H29年度参加者】2,400人	300
9	健康づくり課	H29年度健康バンザイ!がんばらんばキャンペーンにおけるがん検診受診向上および健康長崎市民21推進イベント	共催	H29年度長崎県看護協会県南支部、長崎県栄養士会長崎支部、長崎県臨床心理士会、長崎県理学療法士協会、長崎県NPO法人ヒンクリボンながさき、長崎大学医学部保健学科、純心大学地域連携センター、長崎市食生活改善推進員協会、長崎県健康事業団、(健康バンザイ!がんばらんばキャンペーン:長崎県、全国保険協会長崎支部、長崎市歯科医師会、長崎県国保連合会、長崎県骨髄バンク推進連絡会議)	地域における保健医療・職域等の健康づくり団体との協働により、市民を対象に生活習慣病の予防と重症化防止のための健康づくりについて普及啓発を行い、生活習慣の見直しと自主的な健康づくりに対する意識向上を図る。生活習慣と健康チェック、専門職による各種健康相談・啓発の実施、健(検)診の受診勧奨・健康づくり体験コーナーなど、各種健康ブースの設置。	地域における保健医療・職域等の健康づくり団体との協働により、市民を対象に生活習慣病の予防と重症化防止のための健康づくりについての普及啓発、生活習慣の見直しと検診(健診)受診を含めた、自主的な健康づくりに対する意識向上について、各団体の力をかりて健康づくりの輪を広げている。 【H29年度】:各健康づくりコーナーの来場者数:1,051人 協働した団体数:7団体	287

No.	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	H29決算
10	健康づくり課	H29年度 元気がいちばんたい！健康まつり	共催	H29年度：全国健康保険協会長崎支部、長崎市医師会、長崎市歯科医師会、長崎市臨床内科医会、長崎市薬剤師会、長崎県看護協会 県南支部、長崎県栄養士会長崎支部、長崎県理学療法士協会、長崎大学医学部保健学科、NPO法人ピンクリボンながさき、世界禁煙デーinながさき実行委員会、全国B型肝炎訴訟長崎原告団、長崎市食生活改善推進協議会、長崎県健康事業団	地域における保健医療・職域等の健康づくり団体との協働により、市民を対象に、がんをはじめとする生活習慣病の予防と重症化防止のための健康づくりについて、普及啓発を行い生活習慣の見直しと自主的な健康づくりに対する意識向上を図る。生活習慣・健康チェック、がん検診・特定健診の受診勧奨、がん検診の実施、たばこについての啓発・禁煙相談など、各種健康ブースの設置。	地域における保健医療・職域等の健康づくり団体との協働により、市民を対象に生活習慣病の予防と重症化防止のための健康づくりについての普及啓発、生活習慣の見直しと検診(健診)受診を含めた、自主的な健康づくりに対する意識向上について、各団体の力をかりて健康づくりの輪を広げている。 【H28年度】各健康づくりコーナーへの来場者数:3,420人 協働した団体数:20団体 【H29年度】各健康づくりコーナーへの来場者数:2,031人 協働した団体数:15団体	180
11	健康づくり課	長崎市慢性腎臓病(CKD)予防対策「病診連携医」研修会	共催	長崎市医師会	慢性腎臓病(CKD)予防対策として、かかりつけ医と腎専門医の医療連携により、CKD患者の早期発見、早期治療を推進し、重症化防止を図るためのしくみを整備し、長崎市医師会と共催でかかりつけ医等への研修会を実施している。	平成25年度からCKD病診連携システムを稼働するにあたり、かかりつけ医療機関を対象に研修会を開催している。企画は市が行い、会場の提供および医療機関への周知、参加者の取りまとめについて長崎市医師会の協力をいただきながら運営している。 ①研修会開催状況及び参加人数(延) ・8回(351名) ②さらにコメディカルスタッフへの研修会も実施 ・10回(431名) ③訪問等栄養指導依頼件数(平成25年12月～平成30年3月) ・延べ280件	108
12	動物管理センター	動物愛護フェスタ	共催	長崎県獣医師会長崎支部	毎年、動物愛護週間に動物愛護思想の普及及び啓発を図るため、動物愛護ボランティアによるイベントブース、動物愛護及び狂犬病予防啓発パネル設置、獣医師による、犬猫よろず相談コーナーなどを実施している。	獣医師会の参加により、ペットを飼っている人はもちろん、これから飼おうと考えている人に対して、それぞれの動物に合った飼育方と病気の予防方などの、専門的な知識の啓発を行うことができた。	60
13	子育て支援課	地域親子のふれあい支援事業	共催	長崎市民生委員児童委員協議会 地域の保育所 子育て支援グループ	市内の公民館・ふれあいセンター等を会場に、未就学児とその保護者を対象とした「お遊び教室」を開催し、親子遊びや保護者同士の交流を促すとともに、保護者の育児負担の軽減を図る。	保育士だけでなく、地域の民生委員・児童委員等子育て経験豊富な方々が参加することで、保護者の育児負担の軽減を図ることができた。 開催箇所及び回数:35箇所、464回 参加者数:16,695人	8,260
14	こどもみらい課	長崎市青少年育成協議会活動事例発表会	共催	長崎市青少年育成連絡協議会	青少年育成協議会及び子ども会活動の日頃の成果を発表することで、青少年育成活動の活性化を図る。企画及び実施について、長崎市青少年育成連絡協議会と共催。	地域の青少年育成協議会及び子ども会活動の日頃の活動について発表する機会を設けたことで、地域の育成協議会活動の情報を共有することができた。また、青少年健全育成活動の活性化につなげることができた。	124
15	環境政策課	親子で省エネ実験・施設見学会	共催	九州電力株式会社長崎営業所	九州電力株式会社長崎営業所と共同で、小学生を対象にエネルギーや省エネに関する学習会を1日間のうちの午前中に開催 午前中 九州電力株式会社長崎営業所による座学・実験等 午後 長崎市が環境施設見学	電気や省エネについて専門的な知識を有する九州電力株式会社長崎営業所と共同して講座を開くことにより、参加者の環境問題に対する理解の向上や意識の醸成をより効果的に図ることができる。	117

No.	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	H29決算
16	商工振興課	地域商店街マネジメント支援事業	共催	商店街振興組合協同組合	<p>賑わいの創出を図り活性化を目指す想いや意欲はありながらも、組織体制や事業の運営手法等に課題を持つ商店街に対して、市がファシリテーター等の外部専門家を派遣し、商店街自らによる現状分析や課題抽出及び課題解決に向けた事業の策定と、賑わい創出等に向けた取り組みを支援する。</p> <p>H27 2団体：長崎市平和町商店街振興組合 長崎市浦上百貨センター協同組合</p> <p>H28 5団体：長崎市築町市場協同組合 長崎住吉中園商店街振興組合 長崎城栄商店街振興組合 長崎市平和街商店街振興組合 長崎市浦上百貨センター協同組合</p> <p>H29 3団体：長崎市築町市場共同組合 長崎城栄商店街振興組合 思案橋横丁会</p>	<p>市がファシリテーター等の外部専門家を派遣したことにより、商店街組織内で、多様な手法や技法での会議等がなされ、商店街組合員の合意形成や相互理解に向けて深い議論がなされた。</p> <p>また、商店街組合員は、外部支援員から商店街の現状把握、分析及びPDCAサイクルを学び、活動の体系づけの整理、目標設定等、実践的な作業を行ったことで商店街自らによる賑わい創出等に向けた取り組みに繋がった。</p>	1,490
17	水産農林政策課	長崎「食」の晩餐会	共催	NPO法人 長崎の食文化を推進する会	<p>長崎ならではの食材の活用及びPR並びに新たな食文化の創造を目的として、NPO法人長崎の食文化を推進する会と連携し、季節の旬の食材を使用したフランス料理を市民に親しんでいただく「長崎『食』の晩餐会」を実施する。</p> <p>《使用する食材》 【9月】「長崎和牛・出島ばらいろ」 【11月】「長崎和牛・出島ばらいろ」</p>	NPOと連携し、市民や観光客に長崎ならではの食材の魅力を伝えることができた。	73
18	水産農林政策課	「食卓の日」料理教室	共催	西部ガスショールームヒナタ長崎	<p>毎月19日の「食卓の日」に、食卓を囲んだ家族コミュニケーションの場の創出と地産地消の推進を図るため、西部ガスショールームヒナタ長崎において、長崎産の旬の食材などを使った料理教室を開催する。</p>	旬の食材や長崎ならではの食材を使った料理教室を開催することで、「食卓の日」や、地産地消のPRができた。	135
19	茂木地域センター	茂木クリーン作戦	共催	茂木愛創会	<p>茂木に住んでいる人、働いている人の仲間づくりと茂木を美しくきれいなまちにすることを目的に清掃活動を行う。地域センター職員と郵便局長が地域で働いている人や住民に呼びかけ、清掃活動を開始し、団体を立ち上げたもの。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体や地域住民の親睦と融和が図られた。</li> <li>・青少年の健全育成につながった。</li> <li>・住民参加による郷土愛の醸成が高まった。</li> <li>・ゴミが減り、草刈りが適正に行われることにより環境美化が図られた。</li> </ul>	0
20	土井首地域センター	みんなでつながる“どいのくび祭”	共催	土井首地区自治連合会、土井首地区コミュニティ協議会	<p>土井首地区の将来を見据え、地域の担い手の育成や地域コミュニティの活性化、地域住民の交流拡大等を目的として、地区内のあらゆる機関・団体が協働したオール土井首で、毎年1回まつりを企画し実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの活性化</li> <li>・まちづくりの担い手の育成</li> <li>・地域住民がつながるきっかけづくり</li> <li>・まつり内で実施される啓発行事による知識の普及（防災、防犯、交通安全など）</li> </ul>	0

No.	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	H29決算
21	健康教育課	アスレティックトレーナーによる子どもの体力向上事業	共催	アスレティックトレーナー 長崎県協議会	アスレティックトレーナーによる子どもの体力向上事業とは、小中学生を対象に体力の基礎である柔軟性を中心とした講習会や相談会をアスレティックトレーナー長崎県協議会と協働で行う事業。 長崎県教育委員会の平成28年度長崎県児童生徒「体力・運動能力調査報告書によると、「持久走」、「シャトルラン」、小・中学校男女とも全国平均を大きく上回っていて全国トップレベルであるが、「長座体前屈」は小・中学校男女ともに全国平均を大きく下回っていると報告されています。また、運動をする子どもとしない子どもの2極化もあり、体力の格差も生まれています。始業から終業まで最大7時間座って過ごす現状もあり、体が非常に固まった状態で、運動をする子どもも少なくない。そこで、柔軟性の維持・向上を目的とした、体力向上事業をアスレティックトレーナー長崎県協議会と協働で行うことで、児童生徒のケガの予防と将来の健康維持・管理のための適切な方法について講演し、日常の運動習慣のきっかけ作りをしていく。	官民協働で実施することによって、アスレティックトレーナーが子どもたちに直接指導することができるようになり、児童・生徒自身が改めて成長期の身体の特徴を理解し、食事、休養、運動の重要性を再確認することで健康維持、向上へ積極的に取り組む助けとなる。生徒自身に直接伝える機会を設けることで子供のころから自ら健康を維持するための意識と方法を身につけるための一助となる。体力向上への取り組みにあたり、学校においては先生が専門家の指導を受け、効果的な指導方法の取得ができ、安全な環境づくりにつながる。 アスレティックトレーナーと行政、学校、教員、外部指導者など、つながりができ、活動の場を広げることができる	48
22	選挙管理委員会事務局	常時啓発事業（明るい選挙推進老人グラウンド・ゴルフ大会の開催）	共催	長崎市老人クラブ連合会 明るい選挙推進長崎市協議会	明るい選挙推進事業の一環として、高齢層に対しスポーツを通じて明るい選挙の推進と政治意識の高揚を図り、併せて健康の保持と増進に寄与することを目的として老人ゲートボール大会を実施する。（H28年度は、グラウンド・ゴルフ大会を開催）	各団体が持つ経験や情報、ノウハウなどの強みを活かすことで、効果的な選挙啓発を行うことができた。	10
23	消防局予防課	第49回市民防火のつどい・平成29年婦人防火クラブ長崎地区大会	共催	長崎市婦人防火クラブ連絡協議会	毎年11月頃、消防局や長崎市婦人防火クラブ連絡協議会などとの共催により、婦人防火クラブ員をはじめ、幼年消防クラブや自主防災組織員など約1,100名が一堂に会し開催している。 安全功労者総務大臣表彰の伝達や永年にわたり各地区の婦人防火クラブ会長として御活躍された方々への表彰を行うとともに、部外講師を招いての講演会や幼年消防クラブ員、婦人防火クラブ員が披露するアクションなどを実施している。 本防火のつどいの開催により、防火意識の啓発と会員相互の親睦を図ることによって、各クラブ員の自主性と連帯意識の向上につながり、ひいては「自分達のまちは自分達で守る」という積極的な防火防災活動につながっている。	婦人防火クラブ員や地域で防火防災に携わる方など約1,100名が参加し、防火意識の啓発と会員相互の親睦を図ることができた。 本防火のつどいを開催することにより、各クラブ員の自主性と連帯意識の向上につながり、ひいては「自分達のまちは自分達で守る」という積極的な防火防災活動につながっている。	287
			件数				23
			事業費総計				17,055